

評価年度

令和 3 年度

## 1. 基本情報

公の施設名	利府町文化交流センター
指定管理者名	利府みらいクリエイティブ（代表企業：丸善雄松堂株式会社、構成企業：アクティオ株式会社、株式会社東急コミュニティー）
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	利府町文化交流センター条例(令和元年条例第24号)
施設の設置目的	町民の文化芸術活動及び交流の場を提供するとともに、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって町民の教育と文化の発展及び福祉の増進に寄与すること。
施設概要	場 所 : 利府町森郷字新椎の木前31番地1 敷地面積 : 22,403.61㎡ 建物概要 : 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階一部3階建て、地下なし 建築面積 3,869.41㎡ 延床面積 5,308.01㎡ 駐車場 約380台（内おもいやり駐車場6台） 駐輪場 約70台（37.11㎡） 主な施設 : 利府町図書館 1,206.05㎡ 利府町公民館 556.30㎡ 利府町文化会館 3545.66㎡（共用部分含む）
施設所管課	利府町教育委員会 教育部 生涯学習課

## 2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数合計(人)	144,663				
利用料金収入合計(円)	8,671,450				

## 3. 成果指標の達成度

## 指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数の増加(人)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で来館者数を147,000人以上とし、次年度から令和7年度まで来館者数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに155,000人以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)	110,250				
実績値(人)	144,663				
達成度(%)	131%				

## 指標 2

指標名(単位)	利用登録団体数の増加 (団体)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で利用登録団体数を143団体以上とし、次年度から令和7年度までに団体数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに158団体以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(団体)	143				
実績値(団体)	421				
達成度(%)	294%				

## 指標 3

指標名(単位)	年間貸出冊数 (冊)
指標式と指標の説明	利府町総合計画「生涯学習の推進」における指標として、令和7年度までに、町民ひとり当たりの図書の年間貸出冊数を8.5冊以上という目標を掲げている。 なお、総合計画において令和12年度までには12冊以上とする目標を掲げている。 しかし、上記は人口変動の影響を受けるため、指定管理者の評価には貸出冊数を目標値とし、令和7年度まで増加を図るものとする。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)	208,000				
実績値(冊)	194,856				
達成度(%)	94%				

評価(5段階)	評価理由
S	指標1, 2については目標値を大幅に超えて達成することができた。 指標3の図書館資料の年間貸出冊数については、臨時休館や貸出規則の変更などの影響によるものと推察する。

懇話会意見	目標を大幅に超えた登録団体数となっていることから、施設が使いたいときに使えないような状況になっていないかが危惧されたが、うまく調整していることがわかった。 目標値の設定や評価方法について、指標のうち一つでもずば抜けて達成度が高いと、ほかの指標の結果にかかわらず最高評価が得られる仕組みは、今後検討していただきたい。
-------	--

#### 4. 事業の実施状況

##### (1) 指定事業（全26事業より抜粋）

##### ① 図書館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
おはなし会	毎週水曜2回 隔週土曜1回	読み聞かせやわらべうたなどを実施し、親子で絵本を楽しむ時間を提供。特に「あかちゃんおはなし会」が好評で、多い時は30名以上の参加があった。
あかちゃんタイム	毎週水曜日	毎週水曜日10:00～12:00に、あかちゃんと一緒に気兼ねなく本を楽しめる時間を設けている。この時間帯に合わせて来館される親子連れが多い。利用者のご協力によりトラブルなく運営できている。
リサイクルブックフェア	11月	除籍資料を無料で提供するフェア。開始前には長蛇の列ができた。一方通行や整理券配布などで感染防止対策を図りながら、2,146点の資料を提供。
ボランティア養成講座	6月・1月	おはなし会の運営、開館行事である図書館ツアーのコンダクター、資料の修理・配架ボランティアを募集・養成。住民の皆さまに幅広く図書館運営に参画いただいている。
事前貸出利用登録・更新受付	6月	1ヶ月間で、510名にご登録いただいた。うち新規登録は154名、再発行(カード切替)は356名。新図書館へのご期待が窺えた。

##### ② 公民館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
指定・交流事業 佐竹真紀子展 (防災フェスタ)	3月	東日本大震災から11年目である過去・現在・未来を描く利府町在住の現代美術作家の作品展をtsumikiとの連携開催。作家との対話鑑賞交流会は定員を超える参加があった。
指定・連携事業 利府町文化祭 (文化祭)	12月	12月に延期開催。2日間にて来館者数2,146名。出演31団体(236名)、出展19団体(581点・156名)、体験・物販9団体(51名)、運営サポーター49名の協力を得て開催。
指定・生涯学習事業 利府キッズ料理教室	9月・11月・2月	小学生を対象に定員15名にて全3回実施。利府町産の食材を使用したお菓子作り教室を開催。定員を上回る応募があり、利府梨や利府町産米粉を用いて地元愛を醸成した。
指定・生涯学習事業 陶芸教室	①11月 ②1月～3月	中学生以上を対象に定員15名全4回×年2回開催。①ろくろを用いた大皿やカップを制作②鋳型から皿を制作。定員を上回る応募があり、陶芸窯を活用する内容で実施。
指定・生涯学習事業 利府の食材で世界料理教室 (料理教室)	8月・10月・ 11月・1月・ 3月	中学生以上を対象に定員10名にて年5回開催。利府町産の食材を用いた「世界料理教室」を開催。①イタリア②韓国③台湾④アメリカ⑤タイ。全回定員を上回る人数で実施。

##### ③ 文化会館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
開館記念式典	7月	開館日(7/1)実施・開式、テープカット(116名) 記念樹&荒川氏手形等 除幕式、トークショー(165名) 仙台フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる四重奏コンサート/第1部(171名) 第2部(156名)を実施。
こどもミュージカル・ワークショップ公演	8月⇒10月	コロナ禍による休館のため、9/28から10/10に延期開催。町内の5歳から高校生までの30人が出演した町民によるミュージカル。観客数:134名※席数半数(159席)販売。
ロビーコンサート	8月・11月・2月	年3回実施。エントランスホールにて無料開催。各回感染症対策を講じ30席～50席の椅子を設置。エントランス常設のソファやプレイマットでも気軽に音楽に親しめるよう開催。
風間杜夫独演会 (親子で楽しむ歌コンサート)	2月	指定・芸術鑑賞事業 名俳優の「風間杜夫」氏による落語。 実施日:1/29(土) チケット販売数:358枚 来場者数:286名

森の記憶 スtringグラフィ (絵本の読み聞かせクラシックコ ンサート)	3月	指定・芸術鑑賞事業 絹糸と紙コップを用いた新しい音楽と演出 実施日：3/26(土) チケット販売数：90枚 来場者数：82名
---	----	---

## (2)提案事業 (全30事業より抜粋)

主な事業名	実施時期	内容
公民館提案・子育て支援事業 ベビーマッサージ (ベビ-ヨガ)	7~3月	月齢3ヶ月から1歳児と保護者を対象として定員5組(10組)。毎月1回・年9回開催。温度管理をした和室にて乳幼児と保護者とのふれあい、参加者同士との交流を深めた。
RIFU LIVE 利府ライブイベント 企画 りふらフナイト	10月・11月・ 12月・1月・ 2月・3月	年6回開催。ファミリーコンサートや落語、JAZZセッション、人形劇やサイエンスショー等、家族で参加できる内容や幅広い世代に楽しんでいただける企画にて実施。
文化会館提案・体験事業 めざせ！未来の演奏家♪ (楽器体験)	10月・11月	年2回開催。仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏家とふれあい音楽に親しむ事業。①フルート・オーボエ演奏に親しむ。参加人数70名②パーカッションとヴァイオリン演奏と体験。参加人数109名。
大人のための朗読会	10月	大人を対象に、絵本の朗読会を開催。絵や言葉の美しさを感じながら表現を磨いた。後日、図書館ボランティアに登録いただいた参加者もあり、利用者との接点が多く生まれた事業となった。
図書館おとまり会 ぬいぐるみおとまり会	11月	小学生15名が夜の図書館に宿泊。読書を満喫しながら同世代との交流を深めた。申込受付開始から50分で定員を迎え、当日の様子は仙台放送にて放映。大きな反響があった。

## (3)自主事業 (全2事業)

主な事業名	実施時期	内容
お馬さんとふれあおう	11月	えにしスポーツパーク協力のもと、三頭の馬に「ふれあう」「えさやり」「写真撮影会」を実施。図書館との連携企画「おはなし会」「ぬりえ体験」を開催。えさやり体験：参加者23組60人
カフェレストラン・アリーノ	通年	営業日数215日。定休日及び臨時休館時以外はすべて営業

評価 (5段階)	評価理由
A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言や営業時間の短縮などにより事業予定を変更しながら、実施することができている。 町民向けに発表の場を提供する事業は特に好評であった様子で、予定回数を超えて実施しており、施設の有効活用やアピールとして効果があった。

懇話会意見	直営の頃にはない事業をたくさん実施していることに加え、直営で取り組んできた事業がよく引き継がれたと感じる事業内容であった。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の影響もあったが、日程を変更するなど対応し、実施していることを評価したい。今後、利府オリジナルの事業が実施されることを期待している。
-------	--

## 5. 利用者の満足度

### (1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	施設利用者アンケート調査の実施 / 人
目標値の基準	施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、設問「施設の設備・サービスについて満足しているか」総回答に対する「満足している」「どちらかという満足している」と回答した割合の小数点以下第2位を四捨五入した数値を実績値とする。 (目標値80%は募集時の提案書記載の数値)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	80%				
実績値(%)	74.7%				
達成度(%)	93%				

### (2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
事業ごとアンケート	都度	各館、事業の参加者にアンケートをお配りし、率直な感想をいただいている。集計結果を職員で共有し、次年度の事業内容や日々の運営に反映させている。
お客様の声	都度	総合受付に「お客様の声」ボックスを設置。いただいたご意見やご要望は施設全体に共有している。
Webサイトからのお問い合わせ	都度	施設Webサイトのお問い合わせメールフォームから随時お問い合わせを受け付け、担当者より回答を差し上げている。

評価 (5段階)	評価理由
B	今回実績は、都市再生整備計画事後評価の一環で行ったアンケート調査（令和3年10月実施）の結果を反映している。開館後まもなく、臨時休館などもあり、実際には、まだ利用したことのない町民が多数であった。施設を利用したことのある回答者のうち、「満足」「どちらかという満足」が74.7%であり、「不満」「どちらかという不満」の回答は12.3%と少なかった。

懇話会意見	サークル活動で利用している人々の声を聞くところ、リフノスの運営が好評であることが伺える。公民館という施設で抱える課題として、利用者の固定化があげられる。今後のアンケート調査では、その点も考慮して実施されるとよいと思う。また、せっかく多様な事業を実施しているので、ぜひ事業を「知らない」、施設に「来たことがない」という層への広報に取り組んでほしい。
-------	---

## 6. 経営状況

### (1)施設の収支概要

項目	令和3年度決算	令和3年度予算	予算決算比
<b>収入 (a)</b>	241,360	239,020	2,340
指定管理料	231,000	231,000	0
利用料金収入 (うち、減免補填額)	8,498 (2,285)	7,134 (4,640)	1,364 (-2,355)
事業収入	1,428	415	1,013
その他の収入	434	471	-37
<b>支出 (b)</b>	234,020	239,020	-5,000
人件費	111,503	112,192	-689
事務事業費	61,611	64,793	-3,182
維持管理費	60,731	61,835	-1,104
その他の支出	175	200	-25
<b>収支 (a)-(b)</b>	7,340	0	7,340
備考	光熱水費については、上記のほかに指定管理者が立て替え払いしたのち、町で補填している。 令和3年度光熱水費の実績は15,174,452円。		

### (2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	提出された決算書からは、指定管理者である利府みらいクリエイティブの経営母体である各社の財務状況に支障は認められない。また、各社の自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率について、いずれも好転の状況がみられる。
------	---

評価 (5段階)	評価理由
A	総収支が黒字、指定管理料以外の独自収入は10,322千円で、総収入の4.2%にあたる。開館期間が9か月であったことから、現在の利用状況で通年開館した場合にはもっと伸びる可能性が高い。

懇話会意見	特になし
-------	------

## 7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町教育部生涯学習課職員が、現地調査による資料や施設を確認し、実施した。 また、詳細確認は指定管理者へのヒアリングを実施した。
実施時期	令和3年7月、3月、令和4年4月 (年1回以上実施)

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	改善済	各種マニュアルの整備について、改善済
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	改善済	指定管理者における文書管理規定の策定について、改善済
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
有	コロナウイルス感染症にともなう臨時休館等を指示した際には迅速に対応し、また、濃厚接触者の報告やそれにとともなう人的配置等は運営に支障がでないよう取り計らっていた。

評価（5段階）	評価理由
B	指定管理業務の初年度ということがあり、独自マニュアルの策定が開館当初に間に合わず、所管課によるモニタリングの結果、改善済となっている。

懇話会意見	窓口での接遇について、気がかりな対応があった。施設の顔でもあり、今後も引き続き注意されたい。
-------	--

## 8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

自己評価点数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍によって利用時間の制限や休館時期があったが、目標来館者数を達成できたこと。</li> <li>・職員一同の衛生管理などの徹底により、クラスターを起こさず、事業においても事故なく安全に実施することができたこと。</li> <li>・事業計画書以外にも、来館者ニーズに応えた事業や文化庁などの助成金を活用した追加事業のほか、積極的に自主事業を計画・実施したこと。</li> </ul>
70	
自己総合評価	
A	

## 9. 所管課意見

指定管理初年度であり、管理運営体制が共同企業体であることから、館独自のマニュアルの作成について時間を要してしまったため、管理運営の履行状況についての評価が低くなってしまった。しかし、年度途中に改善できており、次年度以降はより共同企業体内、および所管課とのスムーズな連携ができるようになると期待される。

新型コロナウイルス感染症拡大予防等の措置の取られる時勢下においても、施設の利用状況は概ね良好に推移している。リノス主催事業の周知方法について、住民の方からご意見をいただくことがあったため、改善を図りたい。

## 10. 懇話会意見

指定管理者による管理運営により、事業規模は大幅に拡大され、現在の集客の困難な時勢において大変良く運営している。公民館という社会教育施設の機能としては、人・事業・地域などの繋がりや、町民活動のサポートなどが求められる。初年度ということで様々な新しい事業が実施されたが、今後、各事業の発展に伴い、構成施設以外の関連機関との連携が期待される。

## 最終評価

総合点数
70
最終評価
A

